

TAKAMATSUプロジェクト 2 学年

目的：「大学卒業後にどのように生きていくか」までを見通しながら、自分の進路実現に向けて、どのように現在を生き、どのような未来を築いていくのかを考えて周囲と協働して行動できる生徒を育成する。
※キャリアプラン＝進路意識高揚策（キャリア学習と課外活動など含めた総合学習）とサクセスプラン＝学習支援策が相乗的に活きる教育活動を行う。
（学力があってこそその進学、人間力があってこそその学力）

＊このプランはあくまでも三年間の教育活動の全体的な流れであり、基本となるものです。個々の活動を規定するものではなく、目標に向けての、生徒の学びおよび教員の教育活動の、見取り図的なもの

			キャリアプラン (キャリア・進路意識高揚)				キャリア意識に根ざした 学習モチベーション	サクセスプラン (日々の学習)					
			全校	学年	概要・目的（生徒視点）	総探 コマ		教科学習・ 考查・校外模試	目的（生徒視点）	目的（教員視点）	支援 上位層 中下位層		
2 年 次	4 月	上旬		新年度オリエンテーション	2年生としてどのように生活し学習していくか 決意。キャリア学習の見直し確認。		知識・思考力に根ざした キャリア学習・探究学習	4/5 実力テスト	2年スタート時点の学習状 況・内容定着の確認		講座別授業の円滑なス タートを支援。		
		中旬		進路希望調査	1年次の活動を踏まえ自己の将来像に向けて考 える機会とする。	2	学習サイクル 再確立 & 主体的かつ 協働的に	4/7 学力テスト 国数英			「中だるみ」傾向をふま えた声かけ。		
		下旬	強歩大会		主体性・協働性の育成。						GWの有効活用を促す。		
	5 月	上旬										を 表 促 層 的 な 知 識 ・ 理 解 に 留 ま ら な い、 思 考 判 断 表 現 ・ 学 び に 向 か う 姿 勢 の 醸 成	生 活 習 慣 ・ 学 習 習 慣 の 確 立 を 支 援。 家 庭 連 絡 日 に 向 け て 課 題 整 理。
		中旬	南信総体			2							
	下旬	PTA総会	学年PTA		1	家庭学習重点週間 第1回考查		学習習慣維持状況・ 内容定着の確認	理科・社会も含めて「予習・授業・復 習」のサイクルを維持・定着させること の重要性を意識させる。				
	6 月	上旬	県総体 芸術鑑賞 CM		教養醸成。 主体性・協働性の育成。	1	知識・理解に根ざした 傾聴力・思考力の 向上						
				探究活動	課題研究ガイダンス、テーマ決定： 自分の興味・関心を深掘する 調べるべきことを明確化 具体的な調べ方を明確化	1							
		中旬	北信越総体	信大説明会	改めて地元国立大学の講義・説明を聞くことで 学部学科のイメージを広げ、具体的な志望校選 定の参考とする。	1	主体的・協働的活動 による集団としての 力の向上						
				教育実習生に学ぶ	具体的な成功・失敗体験を聞くことで進路意識 を深め、学習に還元する。								
		下旬		小論文①	課題文型。 テーマに沿って、現代社会の問題も織り込みな がら自己の考えを論理的に記述できるような力 を育成。	1	「書く」経験による						
			高松祭		主体性・協働性の育成。								
	7 月	上旬		夢ナビライブ [オンライン開催]	事前準備：講義動画を視聴する等して興味のある 分野を絞る。参加ガイドをもとに当日の行動 計画を作成する。 当日：生中継の講義や質疑、研究室訪問を通じ て、進学の方法や目標を明確にする。 後日：活動報告をする。		目標を 具体化 学習の 質の向上	ベネッセ総合 学力テスト (進研模試) 7/18	志望の具体的記入。 1年次内容定着と2年次ス タート状況を検証。				
				科目選択 説明会	3年次科目選択の理解の導入。	2	将来の自分をイメージ 学習意欲向上	第2回考查	学習習慣維持状況・ 内容定着の確認	5教科全てに取り組んでいるか、行事・ 班活動の中心となりながらも学習習慣が 維持できてきているか、確認。			
		下旬							「志望校」を意識付け	学習定着状況の検証 「中だるみ」の検証 夏休み～秋指導の計画	か夏 休 み 指 導 を 活	宜を家庭 補活用。連 絡日適日	
	8 月	上旬		夏の各種体験 オープンキャンパス 就業体験 看護体験 ボランティア 等	計画書、報告書を提出。 自分の進路に合わせた個別のオープンキャンパスや職場 体験で視野を広げる		視野を 広げる						

TAKAMATSUプロジェクト 2 学年

[illegible]